



議会図書室からのお知らせ

今月の新着図書
R5年10月号

『暇と退屈の倫理学』

哲学

國分功一郎【著】/新潮社 (2022/1)



「暇」とは何か。人間はいつから「退屈」しているのだろうか。答えに辿り着けない人生の問いと対峙するとき、哲学は大きな助けとなる。現代の消費社会において気晴らしと退屈が抱える問題点を鋭く指摘したベストセラー。

『WOKE CAPITALISM ～「意識高い系」資本主義が民主主義を滅ぼす』

経済

カール・ローズ【著】/東洋経済新報社 (2023/4)



「WOKE CAPITALISM」とは、企業が気候変動対策・人種平等・性的平等実現などに取り組む様子を指す。企業が「社会問題」に取り組むこと自体が本音レベルで利益に直結する「現代資本主義」の構造と裏側を読み解く！ オリジナルかつユニークな論考。

『美しく「バズる」技術』

広報

～誰も教えてくれなかった本当のSNSマーケティングの教科書』 青木創士【著】/ぱる出版 (2023/8)



バズるだけなら誰でもできる。でもそれだけでは意味がない。その先の目的を達成させられるものになっているかが重要なのだ。SNSを始めてはみたけれど、何を発信していいかわからない。フォロワーが増えない…。そんな悩みを全て解決！

『トランスジェンダー入門』

話題/
多様性

周司あきら・高井ゆと里【著】/集英社 (2023/7)



群馬大学准教授・倫理学者の高井ゆと里氏、主夫・作家の周司あきら氏による「トランスジェンダー」の入門書。トランスジェンダーとはどのような人たちなのか。どのような差別に苦しめられているのか。今、注目の1冊。

『私だけ年を取っているみたいだ ～ヤングケアラーの再生日記』

ヤング
ケアラー

水谷緑【著】/文藝春秋 (2022/10)



統合失調症の母、無関心な父、特別扱いされる弟、認知症の祖父。生きるのに精一杯だった幼少期。成人してからの「ヤングケアラー」としての自覚、そして失われていた感情を取り戻し、再生へ。ヤングケアラー当事者から聞いたエピソードをまとめた実録コミック。

『母親になって後悔してる』

子育て

オルナ・ドーナト【著】/新潮社 (2022/3)



「もし時間を巻き戻せたら、あなたは再び母になることを選みますか？」この質問に「ノー」と答えた23人の女性にインタビューし、女性が母親になることで経験する多様な感情を明らかにする。

『ソトコト 2023年8月号 ～SDGs入門 買い物から地球環境を考える!』

SDGS/
雑誌

ソトコトプラネット (2023/7)



「社会や環境がよくなって、そしておもしろい」をテーマとした、未来をつくる、群馬県出身編集長によるSDGsマガジンの最新版。

◆この他にも地方議会・行政に関する雑誌を取り揃えております。お問い合わせください。

『ウェブニューフロンティア Web3、メタバース ～最新テクノロジーが切り開く新しい世界の可能性』

テクノ
ロジー

アクセンチュア【監修】/日経BP (2023/8)



Web3・メタバースなどの先進技術が、どのような未来を切り開く可能性があるかを、社会課題と企業/ビジネスの両視点から展望。有識者との対談やユースケースを基に、社会への実装とビジネス活用の最前線を解説。今年5月、群馬県庁に新拠点を開設したアクセンチュア監修本。

『言語の本質 ～ことばはどう生まれ、進化したか』

話題/
AI

今田むつみ/秋田喜美【著】/中央公論新社 (2023/5)



なぜヒトはことばを持つのか？ 子どもはいかにしてことばを覚えるのか？ 巨大システムの言語の起源とは？ ヒトとAIや動物の違いは？ 言語の誕生と進化の謎を紐解き、ヒトの根源に迫る今話題の書。

▶トピックス「**少子化対策・ウェルビーイング**」に関する書籍

『**ウェルビーイング**』

前野隆司・前野マドカ【著】/日経BP
(2022/3)



「ウェルビーイング」についての包括的入門書。取り組みが必要とされているにも関わらず、イメージがつかみにくい「ウェルビーイング」について、働く人・部下を持つ人・経営者に向けてわかりやすく解説。

『**少子化対策したら人も街も幸せになったって本当ですか？**』

泉房穂・ひろゆき【著】/KADOKAWA
(2023/2)



なぜ市長になってから真っ先に少子化対策に乗り出したのか。少子化対策がなぜ経済効果まで生み出したか。このまま少子化が続くと日本の未来はどうなるのか。今、すべての人が読むべき1冊がここに誕生！

『**16%の人しか知らない幸せになる健康資産～人生100年時代を生きぬくためのヒント**』

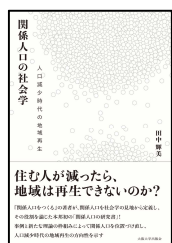
加藤明・寒竹泉美【著】/ダイヤモンド社
(2022/9)



人生100年のライフスタイルの時代にいかに「健康資産」を維持、向上して行くべきか？コロナ禍を経て「健康」はどう変わるのか？最新科学をノベル仕立てで解説。健康資産倍増のヒントが満載。

『**関係人口の社会学～人口減少時代の地域再生**』

田中輝美【著】/大阪大学出版会
(2021/4)

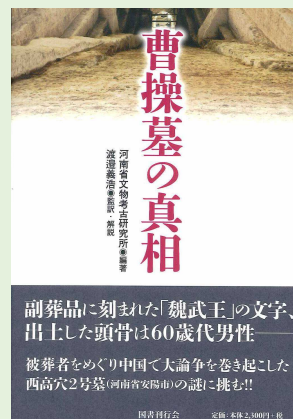


「住む人が減ったら地域は再生できないのか？」関係人口を社会学の見地から定義し、その役割を論じた研究書。各地の事例と理論の枠組みによって関係人口を位置づけ、人口減少時代の地域再生の方向性を示す。



図書広報委員がおすすめする一冊

『**曹操墓の真相**』



編著：河南省文物考古研究所／
科学出版社東京（2011年）



紹介者：今井 俊哉 委員
自由民主党・太田市選出・1期

「治世の能臣、乱世の奸雄」で三国志ファンにおなじみ魏の曹操。漢王朝復興のため健気に頑張る蜀の劉備をいじめる悪の帝王といったイメージが先行しがちですが、その実像は一流の政治家にして一流の軍略家、さらに「横槊の詩人」という異名をとるほどの文化人でもあった希有の人物です。私も高校生の時に横山光輝著三国志60巻を読破して以来の三国志ファンですが、久々に熱くなる内容です。墓を簡素にせよとの曹操の遺言は文献にも記録されていますが、実際に高価な副葬品はほとんど出土せず、悪の帝王はどのような意図でそうしたのか。1800年前の謎解きに挑む科学的検証は読みごたえも十分で、きっとファンの心を満たしてくれることでしょう。

次号では、秋山 健太郎 委員におすすめしていただきます！



議会事務局政策広報課（議会図書室）